

令和元年度 第1回三重県河川整備計画流域委員会 議事録

日時：令和元年8月1日（木）

10時00分～11時10分

場所：JA 三重ビル本館 5階大会議室

1. 開 会

2. 主催者挨拶

3. 議 事

外城田川水系の河川整備計画について、以下のとおり議事を行った。

委員：河川整備計画の策定期間と実際の工事開始時期が異なるため自然環境が変化し、工事開始時期に絶滅危惧種が再発見された事例がある。実際の工事開始前に調査を行って自然環境の変化を把握する姿勢が重要である。

事務局：今年度、河川整備計画の申請を予定しており、数年後に実際の工事開始を予定しています。実施の工事開始前には、自然環境の再調査を実施したいと考えています。

委員：外城田川や有田川の付近では、弥生時代の遺跡が発見されている。工事実施に際して、埋蔵文化財に留意する旨の記載を行ってほしい。

事務局：埋蔵文化財への配慮に関する記載を行います。

委員：工事の実施に際しては、生物の生息時期を踏まえた調査を実施してもらいたい。また、鳥類の渡来地となっている干潟は不必要に掘削しないしてもらいたい。

事務局：調査の実施や不必要な干潟の掘削は行わないように配慮します。

委員：整備計画本文の外来種に関する記載について、特定外来生物であることを明記してもらいたい。

事務局：表現を修正します。

委員：PPT資料 P17 や整備計画本文の地形図は画像を合成して作成しているが、凡例と図面が一致していないため確認してもらいたい。

事務局：分かりやすくなるよう修正します。

委員：整備計画本文の気象概況について、近年の雨量増大等の説明が目的の場合は、年間降雨量ではなく、短時間雨量等を整理した方が良いのではないか。

事務局：次回の委員会からデータの整理方法等を考えたいと思います。

委員：PPT 資料 P51 の対策案の比較では、津波に対して配慮可能な対策案は「河道改修案」だけではないか。洪水だけではなく、津波対策も考慮して比較すべきではないか。

事務局：内容を確認します。

委員：アンケートの設問内容で、河川利用として、本来の利用目的にそぐわない「水量が多いとき様子を見る」が記載されているのであれば、設問内容の見直しが必要ではないか。

事務局：次回のアンケートから設問内容の見直しを行います。

委員：外城田川流域では、生活排水の処理状況はどうなっているのか。

事務局：伊勢市は約 70%の下水道整備率となっており、玉城町や多気町でも大部分の下水道整備が行われています。

委員：PPT 資料 P51 の治水対策案の比較について、様々な観点から評価した時代もあったと思うが、外城田川流域では事業費のみ比較しているように感じるが、実際はどのように比較されているのか。

事務局：外城田川流域はダムに適地がなく、放水路案も現実的ではありません。また、遊水地も用地の取得が困難であり、各対策の特徴や事業費を考慮した比較結果となっています。

委員：支川の相合川や有田川の治水安全度はどの程度なのか。

事務局：年超過確率 1/2 以下です。

委員：支川の相合川や有田川で河川整備を実施しない理由等の整理が必要である。

事務局：河川整備を行わない理由について、さらに内容を整理したいと思います。

4. 閉 会